意欲・熱中・満足

横浜市立立野小学校

令和５年度第６号

９月 28 日発行

学校だより

スタート＆スタート

学校長　石川　秀子

例年にない暑い夏が続いていましたが、朝夕にはさわやかさを感じるようになりました。9月の間しばらくは暑さ指数が高いため校庭で遊ぶこともできませんでしたが、休み時間に校庭で遊ぶ子どもたちの姿が見られるようになり一安心です。暑さの中に空の雲の形が変わり、道端にはいつの間にかススキや猫じゃらし（エノコログサ）の姿が見られるようになりました。季節は確実に変化してきています。

生涯を通して植物学に取り組んだ牧野富太郎博士をモデルにしたドラマを見ていました。一つ一つの草花に向き合い、その花や茎、根の形の特徴や生育場所を細かく見ることに没頭するする姿に、科学者の情熱を感じていました。よく見ることは、よく理解することにつながるのだと改めて思いました。私たちも、子どもたち一人ひとりの様子をよく見て、理解して、次の活動を生み出せるよう、毎日の見取りを生かしたいと努めています。

令和5年度の前期もまとめの時期を迎えます。子どもたちの学習や学校生活の様子を「あゆみ」に記録してお渡しする時期になりました。毎日の活動の中で、様々なやり取りの中、私たちは子どもたちの活動に感心し、価値づけ、励ましています。「頑張っているね」「この表現、素敵だね」「別の方法もあるのじゃないかな」など、言葉にして伝えたり、ノートへのコメントを書いたり、あるいは、ジェスチャーや表情で伝えたりしています。伝えることで、それぞれの子どもが、安心したり自分の活動を価値づけたり、次の活動に向かったりすることができるようにと考え取り組んでいます。

あゆみでは、担任が子どもたちと過ごした中から成長の表れとして捉えた姿を各ご家庭にお伝えします。学校生活のすべてをお伝えすることはできません。学習についての「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点での評定と共に、学習や生活の様子を文章でお伝えします。「あゆみ」は子どもたち一人ひとりが過ごしてきた前期の様子を、頑張りや成長とともにお知らせするものです。子どもたち自身が頑張りを価値づけ、未来への意欲につながるようにしたいです。ですから、あゆみは結果をお知らせすることが目的ではなく、次に向かってのスタートです。

子どもたちの努力を保護者の皆様と認め合い、今後の課題を見つけ、さらに子どもたちが成長するきっかけをつかんでいきたいと思います。

９月は２年生の遠足や６年生の鎌倉見学などの校外学習、５年生と４年生の宿泊体験学習と行事が続きました。保護者の皆様の健康観察、体調管理等へのご協力ありがとうございました。１０月も、６年生の修学旅行や個別支援学級の宿泊体験学習、1年生の遠足などの行事が予定されています。体調に気を付け、子どもたちの思いも力も育てる活動にしていきたいと思います。

１０月もよろしくお願いいたします。